

## 河川敷グラウンドで練習する時の注意事項について(お知らせ)

河川敷グラウンドで練習する時の注意事項を下記の通り連絡しますので、各チームの責任者はチーム全員に伝達しチーム全員が周知徹底下さいます様、宜しくお願い致します。

**【違反者を発見した場合、ペナルティーをチーム全員に科しますので各チームの指導者は、違反者を出さない様、チーム全員の指導をお願い致します】**

1. 一回目の違反は、チーム全員厳重注意処分とする。
2. 二回目の違反は、違反発生日から半年間河川敷(1コート~5コート内)での全ての練習をチーム全員禁止処分とする。
3. 三回目の違反は、違反発生日から1年間河川敷(1コート~5コート内)での全ての練習をチーム全員禁止処分とする。

### 【練習時の注意事項】

I. フェールラインやボールデットラインの**両サイド1m以内**は、全ての練習を禁止する。

#### <理由>

- ・投球やトスバッティング、キャッチボールなどの練習をライン上やライン周辺で行うとスパイクで地面に凸凹が出来、ラインを引く時に凸凹の影響でラインが曲がる為、ラインを引く前に凸凹を直してラインを引く必要がある事や苦勞して引いたラインを消してしまうからです。

### II. 投球練習時のピッチャーとキャッチャーの位置について

- ・投球練習は、一塁・三塁ベースより外野地域で外野方向に向けて投球練習をして下さい。  
**ピッチャーとキャッチャーの位置(ピッチャーが本塁側、キャッチャーが外野側)**

#### <理由>

- ・内野地域(ベンチ前やバックネット周辺)には、選手や大会関係者が多く居る為、投球をキャッチャーが捕れなかった場合、後方の選手や関係者に当たり怪我する可能性が有る為です。

### III. その他の依頼事項について

- ・松山市少年リーグ連盟が主催で開催する大会時の依頼事項(下記3項目)は、今後も継続して下さい。

1. 試合前のライン引きは、ホームベース側から外野方向に綱(ロープ)を各ポイントに合わせて、真直ぐに張ってから引く。

**注)全てのラインは綱(ロープ)の内側を引く。**

2. 各会場で使用する、試合球・オーダー表・試合結果表などの配布及び回収は、主催者側で実施下さい。

3. 各試合終了後のライン引きは、前の試合の帯同審判員がグラント整備後、引いて下さい。